

令和7年6月12日

米価の抑制及び米の安定供給を求める請願

長野市議会議長

西沢 利一様

請願者

ボランティアグループ かがやき21

代表 佐野 美紀

住所

紹介議員

和田 凌弥

寺沢 伸一

倉野 立人

若林 祥

小泉 一真

山崎 昭夫

藤澤 紀子

(請願要旨)

平塚 泰樹

北沢 哲也 原 由紀

昨年来、全国的に米の店頭価格が急騰しており、特に2023年の猛暑の影響による収穫量の減少、コロナ禍からの外食需要の回復、訪日外国人観光客の増加などが重なり、米の需給がひっ迫しています。その結果、スーパー等における精米価格は前年比で2倍以上になるなど、家計に大きな影響を与えています。

政府はこれを受け、備蓄米の放出を行うなどの対応を進めておりますが、依然として米価は高騰したままであり、生産者と消費者双方の不安は解消されていません。今後も安定的な米の供給体制を構築し、価格の適正化を図ることが急務です。

このことから、長野市議会におかれましては、地方自治法第99条に基づき、下記の事項について国に要望する。意見書を提出してください。

記

1. 備蓄米の計画的かつ継続的な活用と、流通の円滑化を推進することにより、生産者および消費者双方にとって納得のできる価格水準への米価の抑制を図ること。また、備蓄米については、消費現場でその効果が実感されるまでの間、活用を継続すること
2. 今後の米の生産および販売体制の見直しにあたっては、各産地が全国の需要に応じた生産量を確保できるよう、取組計画書や営農計画書等の柔軟な変更を可能とするとともに、産地との緊密な意見交換および丁寧な情報提供を行うこと

以上